

会議録

| | | | | |
|--------------|---|---|---------------|--------|
| 会議の名称 | 令和5年度第3回ふじみ野市地域福祉計画審議会 | | | |
| 開催日時 | 令和5年11月24日(金) 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午前12時00分 | | | |
| 開催場所 | ふじみ野市役所本庁舎5階 A501・502会議室 | | | |
| 出席した者の氏名 | 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 |
| | 会長 | 山本 美香 | 事務局 | 仲野 公堅 |
| | 副会長 | 岡田 哲郎 | 事務局 | 佐々木 佐代 |
| | 委員 | 今野 悦也 | 事務局 | 角張 ちひろ |
| | 委員 | 市來 久美子 | 福祉総合 支援チーム | 大川 優生 |
| | 委員 | 當麻 俊輔 | 社会福祉協議会 | 土屋 範久 |
| | 委員 | 柳川 道子 | 社会福祉協議会 | 植草 英二 |
| | 委員 | 小林 和恵 | ジャパン総研 | 地引 綾 |
| | 委員 | 小菅 友美 | ジャパン総研 | 新橋 明奈 |
| | 委員 | 村田 和也 | | |
| | 委員 | 鹿島 貴彰 | | |
| | | | | |
| | 会議の議題 | (1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画素案について (2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版(案)について (3) パブリック・コメントの実施について | | |
| 会議の公開又は非公開の別 | 公開 | | | |
| 会議の非公開の理由 | | | | |
| 傍聴人の数 | 0人 | | | |
| 発言の内容 | 別紙「発言の要旨」のとおり | | | |
| 会議資料 | 別添のとおり | | | |
| 事務局 | 福祉部地域福祉課 | | | |
| 議事の確定 | 確定年月日 | 令和5年12月 日 | | |
| | 記名押印 又は署名 | 役職名 会長 山本 美香 (印) ※自署の場合は、押印不要です。 | | |

発言の要旨

| 発言者 | 発言の要旨 |
|--------|--|
| 仲野課長 | <p>会議開会に先立ち、事務局より伝達事項がございます。 市では、開かれた市政を推進するため審議会等の会議を公開することとしており、本審議会についても、会議を公開することとなっております。 本日の傍聴希望者はありませんので、このまま会議を開会させていただきます。</p> |
| 仲野課長 | <p>1. 開会 それでは、令和5年度第3回ふじみ野市地域福祉計画審議会を開会します。 本日の審議会委員の出欠状況でございますが、欠席の委員は奈良委員、関根委員、山城委員、小泉委員の4名で、出席委員は10名となっております。本審議会の総委員数は14名です。本日の出席委員数は、半数以上が出席されており、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第2項に基づく審議会の開催要件を満たしていることをご報告します。</p> <p>また、本日の審議会には、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第4項の規定により、ふじみ野市社会福祉協議会の職員、また第3期地域福祉計画策定のお手伝いをいただきます、受託業者の株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の職員にも出席いただいておりますので、ご報告します。</p> <p>ここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p> |
| 仲野課長 | <p>それでは、次第の「2. 議題」に移ります。 ここからの進行は、ふじみ野市地域福祉審議会条例第6条第1項の規定に基づき、山本会長にお願いしたいと思います。 よろしく願いいたします。</p> <p>2. 議題 (1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画素案について</p> |
| 山本会長 | <p>それでは、議題1「第3期ふじみ野市地域福祉計画素案」について事務局より説明願います。</p> |
| ジャパン総研 | <p>(事前送付資料1により第3期ふじみ野市地域福祉計画素案についてジャパン総研より説明)</p> |
| 山本会長 | <p>ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ありますでしょうか。</p> |
| 柳川委員 | <p>各取り組みの担当課から社協を除くという説明でしたが、制度的に言えば社協が担当課から除かれるのは業務委託で事業を実施しているので、どこかの課に所属してやっているということだと思います。しかし、実際に</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>そのような体制できているのか疑問です。総合相談窓口の体制はまだ出来上がっていないと思います。実際は、市の担当者が社協にいるので、その下での業務委託となっていますので、そのあたりをもう少し考えた方がよいと思いますが、みなさまはいかがでしょう。</p> |
| 山本会長 | <p>ご質問ありがとうございます。 担当課から社協を抜いたが、実際にはちゃんと関わってやっているのでしょうかということですね。</p> |
| 仲野課長 | <p>この計画は、あくまで行政計画なので市の組織としての担当課という部分からは除かせていただきましたが、計画内の説明の文言としては社協や社協支部は入っています。計画内での説明の中に社協との連携については記述していますので、担当課という視点での取扱いを見直しさせていただいたということです。</p> |
| 柳川委員 | <p>方向としては理解しています。現状として総合相談窓口の体制ができているのか、そういう意味ではまだ除けないのではという気持ちを持っていますので、意見として聞いておいてほしいです。</p> |
| 仲野課長 | <p>社協の方でも地域福祉活動計画を策定している中で、地域福祉計画と両輪で進んでいけるように取り組んでいるところです。市と社協で協議して、こういう形にさせていただいているということでご理解いただければと思います。</p> |
| 山本会長 | <p>第2期計画には担当課として載っていたのでしょうか。</p> |
| 仲野課長 | <p>第2期は載っていませんでした。今回は入れた方がいいのでは、という意見がありましたが、協議した結果、担当課としては入れないという結論に至りました。</p> |
| 山本会長 | <p>そういったことで了承しました。</p> |
| 市来委員 | <p>細かいところを調整いただき、きちんとした素案ができていると思います。関連するSDGsのマークが入ってとてもいいと思います。64、70、77ページに入っていますが、これを前に持ってくる方がわかりやすくよいのではないのでしょうか。</p> |
| 仲野課長 | <p>レイアウトについてはまだ調整ができると思いますので、検討させていただきます。</p> |
| 今野委員 | <p>現在の立場でお話すると、計画内に自治組織という文言がところどころ入っているが、自治組織活動の中で地域福祉に取り組むことに難しさを感じています。地域でも高齢者が増えていて、町会での関わり方を考えながら活動しています。町会での活動は防災訓練が多く、世代間交流などもやってはいますが、そのような中で福祉活動への関わり方が難しいです。活動の内容を見ると、防犯パトロール、防災訓練、市民フェスティバル、文化祭などがあり、そういう活動の中で、大きな災害に対する各町会へ高齢者の避難行動要支援者台帳をいただくが、年々厚くなっています。そういう部分への対応をどうしたらよいのか、教えていただきたいです。</p> |

| | |
|------|--|
| 市來委員 | <p>地域福祉を考える上で、自治組織を外すことはできません。体が不自由な人や高齢者を把握してサポートしないといけないですし。これは福祉だからこっち、防犯はこっちという風にスパッと分けることは難しいです。この計画は福祉の視点で全体を整理しているもので、自治組織も多少の住み分けが必要かもしれませんが、同じ方向を向いて、協力してやっていこうじゃないかということだと思います。</p> |
| 今野委員 | <p>私の所属する町会は、社協も民生委員も良好な関係でうまくいっています。もう少し具体的な例などはありますか。</p> |
| 山本会長 | <p>自治組織はいろんなことをやっていただいている、そういったことについては認識していると思うが、さらに支援策などはありますか。</p> |
| 仲野課長 | <p>市來委員が答えを出してくれましたが、地域福祉として自治組織に一律でお願いすることは難しいですが、地域の状況を見て、課題を一緒に考えて協力をしていきたいです。また、市の会議でもあて職でいろいろお願いしてしまっていますが、本当に必要なのか精査をしていかないといけない時期に来ていると感じています。</p> <p>要配慮避難者名簿については、市では今後75歳以上が増えていくことが予想されることもあり、個別避難計画を高齢福祉課や障がい福祉課で担当しています。支援が必要な人に対する対応や支援方法については一緒に考えていかないといけないと思っています。地域福祉の担当職員として地域を見ていかないといけないと思っています。</p> |
| 山本会長 | <p>その地域に応じた支援を社協と一緒に考えていただきたいですね。</p> |
| 柳川委員 | <p>自治組織と、社協の基礎になる社協支部、困難がそれぞれ違ってきているように感じます。民生委員をやっていると思うのは、民生委員は地域の見守り担っているということです。民生委員に「気にかかる人がいる」という連絡が入ると訪問する、というスタイルができていましたが、最近はそのスタイルが無くなってきていると感じます。また、社協支部も今までより活動が低迷してきているのではないかと思います。一人暮らしの高齢者の名簿や要支援対象の方のカードがあるが、自分の担当区域を回るというやり方になっています。</p> <p>自治組織は社協支部からの連絡が少なくなっているという実感があるそうです。また、役員のなり手がおらず、昔からのやり方、現在の課題にどう取り組んでいくかについても面倒が見きれない状況で、組織的になんともならないようです。69ページに書かれているような関係をふじみ野市でどう作っていくのかという部分が気になります。</p> <p>障がいや支えあう関係をどう作っていくのかという部分も、地域資源がなかったのが課題に感じています。手軽に取り組めるとすると、NPOやボランティアの役割が必要で、担い手を作るためには、きめ細やかな計画が必要なのではないかと思います。</p> <p>「個性」をどう理解すればよいか。みんなで関係をつくると言っても、専門性が必要な部分もあり、制度上の違いもあります。そこをきちんと理解しないと、支え合いは難しく、課題が多いところでもあり、今から対応していく部分だと思います。きめ細やかな連携のシステム、きちんと位置付けていこうということであれば、スタートに立ったと思います。今回はこ</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>れでよいと思っけていますが、今後、要求していきたくてです。</p> |
| 山本会長 | <p>NPOやボランティアへの支援をもう少し書きたいですね。連携システムの構築、進め方も書けるとよいのではないかと思っています。</p> |
| 仲野課長 | <p>その点について、地域福祉計画で細かく入れていくのはページも増えるので難しいです。障がい、高齢などそれぞれの計画で盛り込んでいくようになっていくと思っけていますが、難しさも感じていて、課題感としては認識しています。</p> |
| 鹿島委員 | <p>55ページの施策3-3「超えた」と81ページの「越えた」の漢字が間違っけてるので、訂正をお願いします。</p> |
| 山本会長 | <p>ありがとうございます。 それぞれのお立場から、他にはいかがでしょうか。</p> |
| 當麻委員 | <p>基本目標Ⅰ、Ⅱの部分について、基本目標Ⅲのように目標が左ページにある方がよいのではないのでしょうか。ページを見開きにできた方が見やすいと思っけています。</p> |
| 山本会長 | <p>私も気になっていました。空白が多い部分についても気になります。</p> |
| 仲野課長 | <p>私も感じている部分でして、全部調整できるかはわかりませんが、見開きになるよう努力はしていきたくてです。</p> |
| 山本会長 | <p>外国人支援という点で、小林委員いかがでしょうか</p> |
| 小林委員 | <p>外国人支援については、社協の会議でも外国人が地域福祉とどう関わっけていくかという話題が上がるがありますが、言語の問題もあり難しいと感じています。通訳者や翻訳者がいないと参加は難しいと思っけています。15歳以上のお子さんがいて、高校に行きたいけど、勉強するところがないので、私どもの団体で平日勉強している人などは時間があっけて、地域の活動などに参加はできるとは思っけていますが、言語の問題があっけて参加できないという人も多いので、外国籍の人の関わり方を計画に入れるのは難しいのかなとも思っけています。</p> |
| 山本会長 | <p>外国籍の人で「地域とどう関わろうか」と思っけている人もいると思っけています。小林委員から見たアドバイスはありますか。</p> |
| 小林委員 | <p>自治会のお祭りなどは参加したいと思っけていますし、団体のイベントにお子さんも来っていますが、言語の問題もあっけて周知が難しいかなと思っけています。また、参加できても言語がわからないと楽しめないと思っけています。そういったところに一緒に参加できる通訳ボランティアの育成をすることで、地域で活躍できるのではないかと思っけています。</p> |
| 山本会長 | <p>市内に2～3%くらい外国籍の人がいるということで、これからの問題になってくると思っけています。上手く周知できるといいですね。</p> <p>小菅委員はご意見ありますでしょうか。</p> |

| | |
|-------|---|
| 小菅委員 | <p>障がいのある人が地域の中でどう暮らしていくか、地域で生活するために助けてもらわないといけません。どうすれば地域の人との結びつくことができるのかという点に難しさを感じます。身体など目に見える障がいは助けてもらえやすいですが、自閉症やパニック障害など目に見えないものは理解してもらうのは難しく、時間がかかります。障がい理解が課題で、行動障害が強いとサービスも使えません。また、親の高齢化、施設も資源もないという部分もこれからの課題です。地域福祉の中での関わり、つながりも考えていきたいです。</p> <p>77ページの成果指標「身近な相談先の周知普及」について、令和4年で5.7%だったものを令和11年で50%まであげるとするのはどうなのでしょう。少し大きく出すぎではないかと思いました。</p> |
| 山本会長 | <p>ありがとうございます。目標値はどのように決めたのでしょうか。</p> |
| 仲野課長 | <p>身近な相談先を幅広く周知し、本来なら100%を目指したいところではありますので目標を高く掲げました。相談窓口の周知は全体的に行うことが必要で、身近なところで相談できるとサービスにつながりやすいと聞いていますし、市民サービスの向上にもなります。身近なところで相談できる体制を周知していきたいです。</p> |
| 山本会長 | <p>50%というのはあくまでも目標という気持ちで書いていただいているのですね。周知は難しい部分もあると思いますが。相談先はあるけど、そこに届かない方はたくさんいると思います。そこに取り組んでいくということですね。</p> |
| 小菅委員 | <p>周知は常々難しいと感じています。</p> |
| 村田委員 | <p>63ページの「重点項目に向けた取り組み内容」について、1-1-③がないのには理由はあるのでしょうか。</p> |
| 佐々木係長 | <p>「重点に向けた取り組み内容」については、各施策の取組内容から特に重点的に取り組むべきものをピックアップしています。</p> |
| 村田委員 | <p>65ページにあるものがそのまま載っているのかなと思ってしまいました。重点的にやっているものが載っているということであれば、それでよいです。</p> |
| 山本会長 | <p>知らない人が見ると見にくいかもしれないので、見せ方を工夫した方がよいかもしれないですね。例えば、1-1-①がどこに載っているかわかりにくいかもしれません。</p> |
| 岡田副会長 | <p>自分が違和感を持つ部分は、市民の方も違和感を持つのではということとで3点あります。</p> <p>1点目です。65ページは、課題を分析してこれからの取り組みが示されたと受け止めました。ですが、これをどう具体化していくのか、どうやっていくのかがわかりにくいです。具体化をしていくのは社協の地域活動計画との連動であったり、市民と一緒に考えていく部分になるかと思いますが、今の表記だと担当課だけがやっていくと見えてしまうので、見せ方を</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>考えてもよいのではと思います。 概要版に掲載する「市民が取り組むこと」を本編でどう載せていくか、委員の言葉をどう施策に戻していくのかという部分も気になりました。 2点目は、8ページの3段落目「社会福祉協議会が市民と地域のために」を「社会福祉協議会が市民とともに地域のために」に変更した方がよいと思います。というのも、今の表記ですと、社協が全部取り組むと見えてしまうので、社協が市民とともに地域のためにどのような取り組みをするかをまとめた、とする方がよいのではないかと感じました。 3点目は、「包括的支援体制整備事業」や、「重層的支援体制整備事業」は市民にはわかりにくい言葉で、59ページの書き方だと地域福祉計画と別物に見えてしまいます。これを「手段」「武器」「売り」にして計画を進めていき、一体的に推進するというよりか、ど真ん中で進めていくためのものと考えます。第5節を作ってそこに重層的支援体制整備事業の記述を載せてもよいのではないかと思います。</p> |
| 山本会長 | <p>特に3点目についてはご配慮いただければと思います。</p> <p>私から1点質問です。64ページの以降の活動指標はなぜ2つや3つだけなのでしょう。これだけではないのではと思ったのですが。</p> |
| 佐々木係長 | <p>活動指標が2～3個ということについて、基本目標1は、市の最上位計画で掲げているものを取り上げています。基本目標2は第2期計画で目標達成できなかったものを踏襲するような形で記載しています。例えば、民生委員・児童委員であれば、欠員が出ているのでそこを満たすようにといった形です。</p> |
| 山本会長 | <p>これだけだよねという感じが気になります。「達成できていないので掲げました」というように表記する方がわかりやすいのではないのでしょうか。市民としてどう参加したらいいかということについても第2期計画までは記載がなかったので、そういったものが入るといいのではと思います。あとは、空白の部分が気になるのと、各事業者や団体の表記の統一をお願いしたいです。</p> <p>ご意見が他にないようでしたら、議題1の「第3期ふじみ野市地域福祉計画素案」についてはここで終了とさせていただきます。</p> <p>(2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版(案)について</p> |
| 山本会長 | <p>それでは、議題2「第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版(案)」について事務局より説明願います。</p> |
| ジャパン総研 | <p>(事前送付資料2により、概要版(案)についてジャパン総研より説明)</p> |
| 山本会長 | <p>ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ありますでしょうか。</p> |
| 市来委員 | <p>コンパクトにまとめてくださっていますが、写真やイラストがあった方が市民には親しみやすいと思います。また、最後のページは文字が多く、</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>どのくらい読んでもらえるか気になりました。</p> <p>年号の表記がすべて和暦になっており、本編では西暦と併記しているので概要版でもそのようにした方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>外国籍の方向けに英語版の作成はできないでしょうか。英語版だけでは足りないかもしれない、また需要も少ないと思いますが、視点を広く持って作成してほしいです。</p> |
| 山本会長 | <p>確かにそうですね。小林委員いかがでしょうか。</p> |
| 小林委員 | <p>私たちのところに相談に来るのは支援を求める方がほとんどですので、支援をしたいという人の数を把握はしていませんが、そういった方もいるかもしれないですね。多言語での情報発信は大切かと思います。</p> |
| 柳川委員 | <p>障がい者の中にも外国籍の人がいて、国によって障がいの考え方も違います。外国籍で日本語がうまく話せないから障がいがあると思われてしまうこともあるそうです。お互いが助け合うという事業があってもいいと思います。</p> |
| 山本会長 | <p>外国籍の人については支援の受け手だけでなく、担い手として活躍していただける可能性がありますよね。ツールに目を向けていただけたらと思います。</p> |
| 仲野課長 | <p>英語版の作成については予算的に難しいです。コンパクトな概要版を英語で作成するなどを検討していきたいです。</p> |
| 山本会長 | <p>HP上に掲載するか、紙で発行するかというところも検討したいですね。</p> |
| 村田委員 | <p>市民は文章からではなく、イラスト・写真から目に入るの、目でわかりやすいことが大事で、写真の選び方についても、実際に活動している写真のほうが良いと思います。なるべくわかりやすいものを選んでみてはいかがでしょうか。3ページについては、ふくし総合相談センター「にじいろ」の移転を反映したものにしてください。</p> |
| 山本会長 | <p>こういったものはなかなか文字を読んでもらえないので、わかりやすい写真を選ぶことに配慮してほしいです。</p> |
| 岡田副委員長 | <p>5ページは、地域で過ごすということ自体が地域づくりであるということ強くメッセージを出せるようにするとよいと思います。福祉は正しさを強調してしまう傾向がありますが、ここではみんなに届くように楽しさを強調するとよいのではないのでしょうか。</p> <p>3ページについては、プレゼン資料として市民に届けるものとしてよいものを作ってくれたと思います。市民ひとりひとりに届けられるように、「これまでやってきたこと」と「これから目指したいこと」の指針と「自分たちがやっていくんだ」ということを示すことができるとよいと思います。さらに、コロナを経て改めてつながる、構築し直すという文言を1～2行でもいいから入れてほしいです。</p> <p>重層的支援体制整備事業については「開設」ではなく「開始」という言葉が適切かと思います。また、言葉が出た後に説明を載せた方がよいのではと思います。よいパンフレットになるのではないのでしょうか。</p> |

| | |
|-------|--|
| 山本委員長 | <p>「です・ます調」と「だ・である調」が混在しているので統一してほしいです。個人的には「です・ます調」がよいかと思います。</p> <p>3ページの「縦割りの解消」という表現は市民に伝わりにくいのではないか。写真についてはみなさんと同じ意見です。</p> <p>7ページの「つながる相談窓口」は、ふくし総合相談センター「よりそい」「にじいろ」のことではなく、窓口同士がつながっているということですよね？少し表現がわかりにくいので「いろんなところで相談できて、解決に導かれます」みたいなアピール方法で「つながっているんですよ」ということが伝わるようにしてください。</p> |
| 仲野課長 | <p>写真を検討、事業概要を説明するように検討します。</p> |
| 山本会長 | <p>のぼりがあるところに相談できるのはいいですね。成年後見制度については制度自体を知らない人もいますので、市民が高齢者で困っているというところに結び付けられるような記載に、再犯防止計画についても、自分たちの立場で考えられるような記載にできるとよいと思います。</p> <p>それでは、議題2の「第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版（案）」についてはここで終了とさせていただきます。</p> <p>(3) パブリック・コメントの実施について</p> |
| 山本会長 | <p>続きまして、議題3の「パブリック・コメントの実施」について事務局より説明願います。</p> |
| 事務局 | <p>(資料3により、パブリック・コメントの実施について事務局より説明)</p> |
| 山本会長 | <p>ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ありますでしょうか。</p> <p>特にないようでしたら、次の議題に進ませていただきます。</p> <p>(4) その他</p> |
| 山本会長 | <p>次に、議題4「その他」です。みなさま何かありますか。</p> |
| 事務局 | <p>(資料4により意見シートについてと、計画書作成の工程イメージについて説明)</p> |
| 山本会長 | <p>事務局からの説明について、何かご意見等ありますでしょうか。</p> <p>これで本日予定されていた議題は全て終了しました。</p> <p>それでは、これをもちまして議長の任を解かせていただきます。</p> <p>慎重審議ありがとうございました。</p> |
| 仲野課長 | <p>3. その他 山本会長ありがとうございました。</p> |

| | |
|-------|--|
| 事務局 | <p>それでは次第の3「その他」ですが、事務局より連絡事項がございます。</p> <p>(審議会委員報酬の振込予定等について事務連絡)</p> |
| 仲野課長 | <p>4. 閉会</p> <p>それでは閉会にあたりまして、岡田副会長よりご挨拶をお願いします。</p> |
| 岡田副会長 | <p>みなさま、お疲れ様でした。</p> <p>この計画も策定が大詰めを迎えていて、こうして形になってくると充実感を感じます。この充実感、自分たちの気持ちや考えが十分詰まっているから感じられるもので、事務局やジャパン総研のみなさんが頑張っていた、お互いを尊重しあえるからこそ感じられたものだと思います。この計画はそういった感覚を市民のみなさんと共有できる、4期に向かう計画になればいいなと思います。</p> <p>ふじみ野市の計画は、外部からも注目されていますが、市民に大事にされる計画であればいいなと思います。</p> |
| 仲野課長 | <p>以上をもちまして、令和5年度第3回ふじみ野市地域福祉計画審議会を閉会いたします。</p> <p>みなさま、ありがとうございました。</p> |